

令和7年度第5回堺市学校給食安全衛生運営会議 会議録

日 時	令和7年12月19日(金) 午前10時00分～午前11時30分
場 所	堺市役所本館3階 第1会議室
出 席 者	構成員：加瀬座長、金岡構成員、河井構成員、佐藤構成員、菅構成員 事務局：教育委員会事務局職員 傍聴者：0名
案 件 等	1 令和7年度堺市学校給食安全衛生運営会議のまとめ及び次年度にむけて 2 その他
資 料	1 令和7年度 第5回堺市学校給食安全衛生運営会議 次第 2 調理場確認結果（上神谷小） 3 令和7年度堺市学校給食安全衛生運営会議のまとめ及び 次年度にむけて
会 議 内 容	
	<開会> <u>1 令和7年度堺市学校給食安全衛生運営会議のまとめ及び次年度にむけて</u>
事務局	<資料に基づく説明>
加瀬座長	事務局が説明したこと以外に何か付け加えることや思い出したことがあればご意見を述べてください。
河井構成員	学校給食センターは新しい施設で衛生面に問題はありませんが、今後も清潔さを維持していくことが長期的な運用のポイントになると思いました。また、上神谷小学校については築年数が経過しているものの、できる限りの運用がされており、安全・安心な給食提供に努めている様子が見受けられました。そして、小学校と中学校で給食を試食しましたが、量の違いはあるものの、私が食べていた時代の給食のおいしさと雲泥の違いなので、味や栄養バランスが良く、子どもの健康に配慮された食事であると感じました。
菅構成員	学校で給食試食会を行っておりまして、保護者の方も日頃子どもから聞いている話を胸にしまいつつ食べてみた感想としては、量が少なく、おいしくないのではないかというニュースやSNSで話題になって

	いるようなネガティブな感じではなく、量もあり、おいしいと好印象を持った方が多くいらっしゃいました。また、第1学校給食センターと第2学校給食センターの給食を試食した感想として、材料は同じものを使っていますが、味が少し違ったように感じたので、人が作っていることが実感でき、温かみを感じました。
金岡構成員	今後、教育委員会として検討していただきたいのですが、残食が多い中学校があるというお話を、PTAの方から伺いました。一方で、逆に足りない学校もあるとのことですので、その点については、年度が終わりましたら残食率などの実態を把握していただき、できるだけ残食が出ないよう取り組んでいただきたいと思います。また、保護者が『美味しいよ』と言えば、こどもたちも『美味しいな』と感じる部分があると思いますので、菅構成員の学校のように、試食会などを実施して、生徒だけでなく地域の皆さんとともに中学校給食の良さを共有していければ、残食の減少にもつながるのではないかと思いました。そして、今後は地域を巻き込んだ食育の取り組みについても、ご検討いただければと思います。
佐藤構成員	学校給食センターは最新設備を備え、動線も適切に区分されており、正しく運用すればリスクを大幅に軽減できる設計になっていると感じました。ただし、その効果を最大限発揮するためには、作業に携わる職員の習熟度や理解度の向上が不可欠だと思いました。そこに関して、きっちりされていると思いますが、今一度、実際に働いている方々の、動きや理解度を改めて高めていただけすると、より良い運用につながるのではないかと思いました。また、上神谷小学校については、設備が狭く経年劣化が見られるものの、運用面では細心の注意が払われていると思いました。しかし、ほこりや鏽などの仕方がない部分もあると思いますが、目につくところもありましたので、徐々に改善していただけたらいいのではないかと思います。そして、食育の観点からは、給食が当たり前に提供されているものではなく、多くの人や設備の努力によって提供されていることをこどもたちにわかりやすく伝える取組があると給食を身近に感じていただき、興味を持っていただくようなきっかけになるのではないかと思いましたので、ご検討いただければなと思いました。
加瀬座長	新設された学校給食センターは非常に清潔で、維持管理のノウハウも

	<p>確立されており、現状のまま適切に運用されると考えられます。一方で、老朽化した給食場については、設備の狭さや経年劣化が進んでおり、結局お金の問題になると思うのですが、今後どのように改修や改善を進めるのか、計画的に市民にしていくことが重要だと思いました。特に、新しい施設を利用する地域と古い施設を利用する地域との間で、給食の質や安全性に差があると市民が感じる場合、この差をどのように解消していくのか、計画性をお示しいただくことが望ましいのではないかと感じています。この課題は教育委員会だけで対応できるものではなく、市役所全体で連携し、予算確保や計画策定を進める必要があるかと思いますので、そのような意見が構成員から出たというふうにお伝えいただければと思います。</p>
	<資料に基づく説明>
加瀬座長	今回の改善で予算措置が必要だった事例はありますか。
事務局	改めて予算案を取ってということではなく、ご指摘のあったところについては、取り替え以外は軽微な改善なので、現在ある予算の中で改善していきました。
	<u>2 その他</u>
加瀬座長	事務局の方から何かありますか。
事務局	先ほどいただいた質問を含め、今年一年間のこの会議でみなさまから様々な立場でいただいた意見の反映という視点で、少しお話をさせていただけたらと思います。まず、6月27日の第1回会議では、昨年度に引き続いて給食費に関するご議論をいただきました。この点、昨年度には給食に使用する食材に各種検査を行っていることが、給食費に影響しているのではないか、不要なものは廃止できないかというご意見をいただきました。議論の中で、衛生の専門的な見地からご意見をいただき、教育委員会で検討した結果、放射能検査については国の安全基準が担保されていることを受け、今年度から検査を廃止しました。今年度は、同じく衛生の専門的な見地から頂いたご意見を踏まえ、先ほどありましたように中学校の配膳室では調理を行っていないことから、配膳室の残留塩素の計測を来年度には廃止するよう調整を

	<p>進めています。話を給食費に戻しますが、第1回会議では、佐藤さま及び保護者代表のみなさまから、物価高騰の状況においては保護者視点からも給食にかかる費用が上昇することは止むを得ないと意見をいただきました。現在、国による無償化の議論が報道されていますが、現行の本市の給食の内容は、報道されている費用（月約5,200円）では賄えない水準です。市長からは先日の議会において「質と量を落とさないよう注力したい」とのご発言もあり、教育委員会としましてもみなさまから頂いたご意見も踏まえ、物価高騰の状況下で今後必要となる給食費について予算要求を行っています。保護者のみなさんも期待されている中学校給食の無償化については、現時点で具体的な見通しはありませんが、国や本市の今後の動向に注目いただきたいと思います。また、みなさまからは給食費の予算でどのような給食がどのように作られているのかなどを保護者とこどもたちにもフィードバックする必要があるのではないかという意見もいただきました。この点、先ほどありましたように中学校でも順次試食会という形で保護者の方に実際にこどもたちが食べている給食を食べていただくという形で、フィードバックをさせていただいております。施設面でいただいたご意見では、今年度実地調査いただいた上神谷小学校の調理場が42年経過しており、また、市内の小学校と特別支援学校の調理場の約3分の1が40年以上経過しています。ドライ方式への改修を今年度は3校で行っていますが、現在のペースで年に数校ずつ進める場合、長期化が避けられず、何年かかるのだというようなご意見があることも充分認識しております。そのため、本日いただいたご意見も踏まえまして、調理場のあり方を検討し計画性を持って取り組んでいきたいと思っています。また、残食については、中学校給食開始後、残食が多いという意見と、量が足りないという意見の両方がありました。給食の提供方法については、引き続き事務局の方でも検討し、保護者の方々の意見を踏まえまして取り組んでまいります。給食センターについては、現状衛生面で問題ないと評価されていますが、佐藤さまがおっしゃっていたように人的要因による衛生維持が重要であるため、継続的な教育と管理を行っていきます。本日が今年度最後の集合での会議となりますが、構成員の皆様からいただいた多くのご意見に感謝申し上げます。引き続き、安全・安心でおいしい給食の提供に努めてまいります。</p>
加瀬座長	最後にこれまで全5回にわたり開催された安全衛生運営会議について

	のご感想をお聞かせください。
菅構成員	保護者の方は普段こどもからの話を通じてでしか給食の実態を知ることができません。しかし、教育委員会がどれほど尽力しているのか、給食場でどれだけの人が働いているのか、どのような食材を使用しているのかを実際に見学できることは、非常にいい機会になると思います。そのため、このような情報が保護者に広く伝わることで、給食に対する理解や信頼が一層深まると感じました。
佐藤構成員	今回、会計士という立場でこの会議に参加し、普段の業務である監査や税務とは異なりますが、給食の運営は、人や組織、施設、そして財源が一体となって成り立っており、その過程やルール整備の重要性は、私が関わる業務と共通する部分もあると感じました。給食がこどもたちに届くまでには、多くの方々がさまざまな役割を果たし、尽力されていることを実際に見学し、強く実感しました。こうした取組や努力が、給食を食べる児童・生徒に伝わることで、食の大切さや感謝の気持ちを育むきっかけになると思いますので、今後、こどもたちに対して、給食の背景や関わる人々の努力を分かりやすく伝える仕組みづくりがあればいいと思いました。
河井構成員	仕事柄、他市の小学校給食施設を点検する機会もありますが、老朽化が進んでおり、予算不足の中で安全な給食提供を維持するためにご苦労されている現状を耳にしています。堺市は比較的予算面で余裕があるかと思いますので、できるようなところは、優先順位をつけながら、計画的に老朽化対策をやっていただければいいのではないかと思いました。
金岡構成員	これだけの回数で会議を開催している自治体は稀であり、大規模な市でも年1回程度で、年間のまとめ報告にとどまるケースが多い中、堺市ではPTAや専門的な立場の構成員が実地調査に参加できる機会を設けており、この会議の意義は大きいと感じています。本会議の運営は大変かと思いますが、今後も継続いただき、PTAを通じて現場で見聞きした情報が広く共有されることで、保護者や地域の理解が一層深まると思います。また、私は「食育」の観点もということでこの会議に入れていただいた縁があるのですが、給食はこどもたちの健康だけでなく、生涯にわたる食習慣形成に影響する重要な要素です。現場での

	<p>給食を通じた食育の充実は、今後も継続的に取り組むべき課題です。栄養教諭の配置が増えることで、アレルギー対応に関して学校も安心しますし、食育の質が向上すると思います。現在、視察した学校には栄養教諭が配置されており、食育が充実している様子が見られましたが、この取組をより広げていっていただければと思います。</p>
加瀬座長	<p>私は 6 年間構成員を務めており、初めて参加した当時は「安全衛生専門家会議」という名称でした。この会議は、過去に発生した腸管出血性大腸菌 O157 による給食の重大事例を契機に、二度と同様の事故を起こさず、安全な給食を提供することを目的として始まりました。私が参加した頃には、すでに安全性は確保されており、こどもたちに安心して給食を提供できていたと感じています。その後、本会議の役割は安全性の確保に加え、食育や栄養の充実、食中毒防止など、給食を通じてこどもたちが何を学ぶかという視点も取り入れたものへと発展し、現在の「安全衛生運営会議」となっています。昨年度は給食費の問題についても議論があり、本会議で決定できる事項ではありませんが、意見として提示しました。引き続き、給食費や運営に関する課題について、本会議として意見を集約し、こどもたちに安全で栄養豊かな給食を提供できるよう取り組んでいくことが重要であると思います。また、自治体の財政力によって、給食の無償化や高校への拡大が可能な地域もあり、地域間で格差が生じる現状があります。この格差を是正すべきかどうかは、最終的には住民自身の判断に委ねられますが、こどもの食事は非常に重要であり、給食がなければ栄養不足に陥る家庭もあるという報道も見られます。特に長期休暇中の食事確保が課題となるケースもあり、義務教育期間中は少なくとも一食を確保することが不可欠であると思います。来年度以降も本会議活動は継続され、PTA の方々は交代されますが、本会議の意義や活動内容をしっかりと引き継ぎ、積極的な参加を促していただきたいなと思います。最後に、6 年間にわたり事務局や教育委員会の皆様に大変お世話になりました。一年間ありがとうございました。</p> <p>以上で本日の議題はすべて終了しました。 事務局に進行をお返しします。</p>
事務局	これで第 5 回堺市学校給食安全衛生運営会議を終了いたします。

	<閉会>
--	------